

演劇を使った

平和ってなに？

平和を考えるワークショップ

参加費
無料

2022年

6.23 木・祝

慰霊の日
開催！

場所 宮古島市文化ホール
(マティダ市民劇場)
14:00~17:00

▼一部 平和を考えるWS(ワークショップ) 定員:20名

創作 グループに分かれて、証言について語り合い演劇創作する。
体験する・考える・発見する・話し合う

慰霊の日に考える 「悲惨な戦争」と「平和」

戦争体験者から直接話を聞くこと、証言の収集をすることが困難になっています。戦争を体験していない世代が、戦争の惨禍をどのように後世に伝えることができるかが今後の課題です。慰霊の日に、宮古島で起こった戦争について学び直し、改めて平和について考えてみませんか？



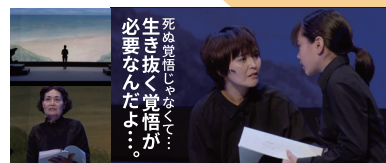
① **アイスブレイク**
体を動かしてみよう

② **テーマ**
心に残った証言を共有

③ **メインコンテンツ**
創作

④ **振り返り**
フィードバック

▼朗読劇 上映(45分) 定員:なし



今年の1月、宮古島の沖縄戦をテーマとした朗読劇を発表しました。13人の宮古島市民が参加し、戦争証言を元に創り上げた舞台を上映します。

ここは宮古島。美しい自然に囲まれた、風光明媚なこの島に、悲しい出来事が起こったことを、決して忘れてはいけません。学校における軍事教育。海軍飛行場が計画され、小さな島に約3万人もの軍隊の駐屯が始まりました。女性・子どもも狩り出された飛行場建設作業の重労働。食糧調達も儘ならぬ様になったころ、宮古島の青い空を灰色に染める空襲が始まるのです。

お申し込み

FAX かメール、電話にてお申し込みください。

下記項目を記入の上、FAX でお送り頂くか、氏名・連絡先を明記の上、メールまたは電話にてお申し込みください。

*定員に達し次第、応募を締め切らせて頂く恐れがあります。早めにお申し込みください。

保護者
氏名

人数

大人: 名

子ども: 名

ワークショップ参加を希望しますか? はい・いいえ(朗読劇上映のみ)

※はいに○付けされた方のみご記入ください▶参加人数: 人

連絡先

携帯電話番号

メールアドレス

WS
ファシリ
テーター



与那嶺 圭一



蔵元 利貴



末吉 功治



村山 靖



ファシリテーターとは?

教える・教わるの関係ではなく、参加者が自分で気づき、学べるようにサポートするのが、ファシリテーターです。ワークショップの進行はもちろんのこと、アドバイスしたり、時には一緒に悩んだりしながら、より良い話し合いが出来るよう、働きかけます。

Google フォームからもお申し込み頂けます。



お問い合わせ

株式会社 TEAM SPOT JUMBLE 担当: 喜舎場

TEL 098-898-1739 (平日 11:00~18:00)

E-mail info@spot-jumble.com

FAX 098-993-6055

「黄金(くがに)文化再発見」

文化庁委託事業「令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業」

主催:文化庁、公益社団法人日本劇団協議会 共催:宮古島市教育委員会 制作:公益社団法人日本劇団協議会

